

【公報種別】特許法第 17 条の 2 の規定による補正の掲載  
 【部門区分】第 2 部門第 5 区分  
 【発行日】平成 20 年 2 月 7 日 (2008.2.7)

【公開番号】特開 2007-45285 (P2007-45285A)  
 【公開日】平成 19 年 2 月 22 日 (2007.2.22)  
 【年通号数】公開・登録公報 2007-007  
 【出願番号】特願 2005-230539 (P2005-230539)  
 【国際特許分類】

**B 6 0 Q 5/00 (2006.01)**

【F I】

B 6 0 Q 5/00 6 5 0 A

B 6 0 Q 5/00 6 2 0 Z

B 6 0 Q 5/00 6 3 0 Z

【手続補正書】  
 【提出日】平成 19 年 12 月 14 日 (2007.12.14)  
 【手続補正 1】  
 【補正対象書類名】特許請求の範囲  
 【補正対象項目名】全文  
 【補正方法】変更  
 【補正の内容】  
 【特許請求の範囲】  
 【請求項 1】

車両の各種状態を聴覚にて報知する聴覚情報提供手段と、前記聴覚情報提供手段を動作させる制御手段と、を備えた車両用情報提供装置であって、  
 前記制御手段は、車両情報入力手段もしくは多重通信入出力手段の少なくとも一方を介して前記車両の各種状態に関する各情報を受信し、前記各情報に基づいて各種警報音を発するように前記聴覚情報提供手段を動作させるとともに、複数の警報条件が同時に発生した場合に、前記各警報条件の優先度を判定し、前記優先度に応じて警報音の音圧の大きさが変化するように前記聴覚情報提供手段を動作させることを特徴とする車両用情報提供装置。

【請求項 2】

前記制御手段は、前記各種警報音が重複している場合に、重複している際の複合音圧の大きさが予め定められた音圧の大きさになるように、前記優先度毎の警報条件に対応する音圧を可変してなることを特徴とする請求項 1 に記載の車両用情報提供装置。

【請求項 3】

前記聴覚情報提供手段は、前記各種警報音を混合するミキシング手段と、前記ミキシング手段からのミキシング信号を鳴動する鳴動手段と、を少なくとも備えてなることを特徴とする請求項 1 に記載の車両用情報提供装置。

【請求項 4】

前記各種警報音は、方向指示器の作動音、リバーズ警報音、バックソナー警報音、コーナーセンサー警報音のうち少なくとも 2 つの音の組み合わせであることを特徴とする請求項 1 に記載の車両用情報提供装置。

【請求項 5】

前記制御手段は、前記各種警報音が重複している場合に、前記方向指示器の作動音、前記リバーズ警報音に対し、前記バックソナー警報音、前記コーナーセンサー警報音の優先度を高いと判断することを特徴とする請求項 4 に記載の車両用情報提供装置。

【請求項 6】

前記車両用情報提供装置は、前記車両の各種状態を報知する各種アナログ指示計を含む視

覚情報提供手段を備えるとともに、前記各種警報音を前記聴覚情報提供手段に備える 1 つの鳴動手段により同時に鳴動することを特徴とする請求項 1 に記載の車両用情報提供装置  
。

【手続補正 2】

【補正対象書類名】明細書

【補正対象項目名】0 0 0 7

【補正方法】変更

【補正の内容】

【0 0 0 7】

また、請求項 3 に記載した車両用情報提供装置は、請求項 1 に記載した車両用情報提供装置において、前記聴覚情報提供手段は、前記各種警報音を混合するミキシング手段と、前記ミキシング手段からのミキシング信号を鳴動する鳴動手段と、を少なくとも備えてなるものである。

また、請求項 4 に記載した車両用情報提供装置は、請求項 1 に記載した車両用情報提供装置において、前記各種警報音は、方向指示器の作動音、リバース警報音、バックソナー警報音、コーナーセンサー警報音のうち少なくとも 2 つの音の組み合わせである。

また、請求項 5 に記載した車両用情報提供装置は、請求項 4 に記載した車両用情報提供装置において、前記制御手段は、前記各種警報音が重複している場合に、前記方向指示器の作動音、前記リバース警報音に対し、前記バックソナー警報音、前記コーナーセンサー警報音の優先度を高いと判断するものである。

また、請求項 6 に記載した車両用情報提供装置は、請求項 1 に記載した車両用情報提供装置において、前記車両用情報提供装置は、前記車両の各種状態を報知する各種アナログ指示計を含む視覚情報提供手段を備えるとともに、前記各種警報音を前記聴覚情報提供手段に備える 1 つの鳴動手段により同時に鳴動するものである。